

JARA 発番 29-232 号

平成 30 年 3 月 19 日

関係団体各位

公益社団法人 日本ボート協会
強化委員会

日本代表候補最終選考レースにおける女子軽量級カテゴリーの予選組合せについて

日本代表候補最終選考予選（3月14日）において、女子軽量級カテゴリーの大石綾美選手及び山領夏実選手は、2本目のトライアルの実施を見送りました。両選手は、12月よりナショナルチームの強化合宿に参加しており、それぞれトレーニング中に生じた怪我のため、リハビリテーション・プログラムを実施してまいりました。当該レースに先立ち、各選手、ナショナルチームのコーチ及びトレーナーによって、プログラムの進捗状況及び回復状況について検討を行ない、両選手が未だ完全な状態にまで回復できていないと判断いたしました。

本件では、「2018年日本代表選手（シニア・U23カテゴリー）選考方針（JARA 発番 29-223号 3-(3)項）」に「医学的事由等、不測の事態への対応について」を適応し、当該レースへの参加を見送るという選択肢も考えられました。しかし、最終選考レース（3月24～26日）における予選の組み合わせに各選手のパフォーマンス・レベルを反映させるためには、全選手を同一の条件下で評価する必要性がありました。そのため、ナショナルチームコーチ及びトレーナーの判断を踏まえ、強化委員会は、両選手が2本目のトライアルの実施を見送ること、1本目のトライアルのみに参加すること、さらに、全選手が参加した1本目のトライアルの結果に基づいて最終選考レースにおける予選の組み合わせを作成するとする選考方法修正案を提案しました。また、これらは事前通知と異なる選考評価を行うため、この旨を代表者会議にて承認いただく必要があると判断いたしました。

本件は、平成30年3月13日に行われた代表者会議において強化委員長より、その経緯、処置及びそれに伴って生じる変更点についてご説明をし、承認をいただきました。